

2023年度  
第4回 理事会議事録

2023年 9月 28日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2023年度 第4回理事会議事録

1. 日 時 2023年 9月 28日 (木) 11:30~14:50
2. 場 所 鉄鋼会館 805号室
3. 構 成 員 14名
4. 出席構成員 14名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議事次第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 審議事項  
第1号議案 共済事業10年表彰の件
  - (6) 報告事項
    - 1) 賛助会員との懇談会 実施内容について
    - 2) 技能者(現場溶接工、鍛冶工)能力評価制度について
    - 3) 委員会等活動状況報告
      - ① 中期ビジョン検討委員会
      - ② 人材育成委員会
      - ③ 創立50周年記念事業準備委員会
      - ④ 運営委員会
      - ⑤ (仮称)鉄骨技術者資格検討WG
      - ⑥ (仮称)建築鉄骨技能検討WG
      - ⑦ (仮称)図面問題対応検討WG
    - 4) 2023年度共同陳情活動について
    - 5) 特定技能外国人材対応について
    - 6) 「働き方改革」に関する発信について
    - 7) 「物流の2024年問題」について
    - 8) 50周年記念映像の活用・展開(方法)について
    - 9) その他(①溶接ロボット資格 ②災害対応 ③賛助会員の退会  
④ウエルディングショー⑤採用関係)
  - (7) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 2023年度主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の小貫専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

小貫専務理事より、本理事会は 14 名すべての理事が出席されており、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされていること、また、監事も 2 名全員に出席いただいていることが報告された。

### (3) 会長挨拶

永井会長より「足元、災害・事故等の報道がされており、適切に対応していく必要がある。任期 2 年目の 2023 年も後半戦となり、各種委員会等の事業活動に目標感を持って対応していただきたい。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

小貫専務理事が、2023 年度第 3 回理事会の要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 審議事項

#### 第 1 号議案：共済事業 10 年表彰の件

共済事業 10 年表彰について、議案書[理 23-4-議 1] (p3)と別紙にそって、総務部滝本課長から説明された。内容は以下の通り。

- ・表彰対象の上位 10 都道府県、算出の基準、感謝状の贈呈方法が説明された。
- ・表彰対象の算出については、各共済事業の 10 年間の累計実績を、会費負担率を使って規模補正を行った上で、順位付けを実施した。
- ・感謝状は、全国正会員が一堂に会する場で贈呈する方向であることが説明された。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認された。

### (6) 報告事項

#### 1) 賛助会員との懇談会 実施内容について

本日開催される賛助会員との懇談会について、議案書 (p5)と別冊資料にそって、総務部 大原部長より以下の説明があり、確認された。

- ・挨拶は永井会長、協会概況等は事務局、各地区概況は各支部長から実施する。
- ・賛助会員との意見交換は、2024 年問題を中心に行い、その後賛助会員への要望という流れで実施。閉会の挨拶は、総括を含め大島副会長にお願いする。
- ・懇親会は 18 時まで 1 時間程度。冒頭の挨拶・乾杯は永井会長、中締めは大竹副会長という段取りで実施。

## 2) 技能者（現場溶接工、鍛冶工）能力評価制度について

技能者（現場溶接工、鍛冶工）能力評価制度について、議案書（p6）にそって新村技術部長より説明があり、以下の内容が確認された。

- ・ 建築鉄骨工事の技能者を対象とすることについては了解。3 団体での申請には、協力する。但し、講習会の採算性については疑問が残るので、講習会運営に参加するかはペンディングとする。鉄建協は教育センターへの委託を想定しているが、協議を行っていない状況なので組織体制も未定と判断する。

## 3) 委員会等活動状況報告

### ① 中期ビジョン検討委員会

「中期ビジョン検討委員会」について、議案書（p7）にそって大島副会長より以下の内容が説明され、確認された。

- ・ 委員会でまとめた3つのミッションに対し、具体的な検討項目を5つ整理し、2030年に向けて目標設定する。それを、全構協中期視点に振り分ける形でまとめていくこととする。

### ② 人材育成委員会

「人材育成委員会」関連の内容について、議案書（p8-12）にそって、総務部大原部長から説明があり、確認された。内容は以下の通り。

- ・ 次世代経営研修について、東北支部を含め全日程が決まった。
- ・ 次世代経営研修の講師については、  
第1部：「人と組織のマネジメント」は小貫専務、第2部：「トップマネジメント」は、渡邊様（静岡県鐵構工業協同組合前理事長）にご対応いただく。
- ・ 第3回「社長の右腕育成講習会」について、募集を開始する。

### ③ 創立50周年記念事業準備委員会

「創立50周年記念事業準備委員会」（予算執行状況）について、議案書（p13）にそって総務部滝本課長より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・ 50周年記念事業の予算執行状況について、途中経過として報告。
- ・ 式典・祝賀会部分について、予算：1,070万円に対し、約360万円超過の1,430万円となった。その他、記念映像制作で約90万円超過、記念誌関係は、予算通りの見通しとなっている。
- ・ 式典・祝賀会部分の差異理由としては、会場・控室の追加対応、記念品対応の追加・計画漏れ、関係者の交通費負担の増加等となっている。
- ・ 各支部での説明用として、差異内容の補足説明用資料を作成・発信することとした。

#### ④ 運営委員会

「運営委員会」については、議案書（p14-15）と別冊の資料にそって、業績調査は、総務部滝本課長より、「支部の位置付け」については妹尾委員長より、以下の内容が説明され、確認された。

- ・業績調査の回答状況及び収益状況と人数情報についての説明があった。業績調査の全体情報について、明日以降、構成員に発信することとした。
- ・業績調査の回答率向上について、来年の調査に向けて対応していく。
- ・全構協の事業の円滑な推進に向け、支部の位置付け、責任と権限を整理する必要があり、そのための調査を実施する。
- ・調査は、各支部の運営委員が支部会等の機会に、支部長等にヒアリングをする方法で実施。ヒアリング内容としては、支部理事会での議決・報告、支部長の責任と権限等の項目を検討中。各支部で集めた情報を、運営委員会で整理の上、提言に繋げたい。
- ・スケジュール的には、11月末頃を目途にまとめることを前提に、委員のヒアリングを11月初めまでに行いたい。来年は改選期でもあり、今回の整理を反映する方向で進めたい。

#### ⑤ （仮称）鉄骨技術者資格検討WG

鉄骨技術者資格検討WGについて、議案書（p16）にそって技術部新村部長より説明され、確認された。内容は以下の通り。

- ・鉄骨製作管理技術者資格の国家資格への格上げ可否について、国交省へのヒアリングをする方向で対応することとした。
- ・国交省のヒアリングは、11月中旬までを目途に実施したい。  
ヒアリングに向けて、内容と方法を詰めることとした。

#### ⑥ （仮称）建築鉄骨技能検討WG

建築鉄骨技能検討WGについて、議案書（p17）にそって技術部新村部長より説明され、以下の内容が確認された。

- ・建築鉄骨特有の技能として「鉄骨組立」に焦点を当て、技能の確認方法として実技試験の模擬試験を実施する。具体的には、10月上旬に、模擬試験を行い、試験内容・必要時間を検討することとした。
- ・経産省の他分野の外国人技能者受け入れ試験内容を参考とし、学科試験の項目を検討することとした。

#### ⑦ （仮称）図面問題対応検討WG

図面問題対応検討WGについて、議案書（p18）にそって、総務部 大原部長から説明があり、確認された。内容は以下の通り。

- ・図面問題対応検討WGについては、7月26日、9月4日の2回実施した。
- ・メンバーで抽出した課題を分類し、検討を進めている状況。

#### 4) 2023 年度共同陳情活動について

2023 年度共同陳情活動について、議案書 (p19-22)にそって 平井総務部長から、以下の内容が説明され、確認された。

- ・ 陳情については、設計事務所：5 社、ゼネコン：9 社、高炉：3 社、JSCA の 18 社に行った。
- ・ 陳情のまとめとして、要望テーマであった「凶面の問題」、「建設業における働き方改革」、「物流・輸送の 2024 年問題」について、“主な意見・コメント”と“課題・取組みの方向性“という視点で整理した。
- ・ 各課題については、それぞれ委員会、WGでの活動として検討して行く予定。

#### 5) 特定技能外国人材対応について

特定技能外国人材対応について、議案書 (p23-29)にそって平井総務部長より以下の説明があり、確認された。

- ・ 経産省からの要請に基づき、特定技能外国人材の受入（希望）人数について、調査結果を基に、中央値≒3,500 人（3300～3700 人規模）との回答を行った。
- ・ 人数情報等に関する行政からの問合せは今後も続くと想定されることから、あらためて定量データの把握のための調査を実施する。データについては、今後の議論に向けて、より説得力のある実数値に近いデータを集めたい。また、現状の技能実習生人数情報に加え、今後の外国人材への期待人数についても把握する必要があるとの意見があった。
- ・ 調査については、調査の趣旨を明確にした上で、業績調査同様 Web アンケートで実施する。回答率を上げるため各種ひな型等を作成の上、各地域の対応に繋げる様にする。調査の記名方式については選択制とし、回答率確保のための個別フォローを実施する。
- ・ 経産省から、今後の外国人材に関する検討の強化に向けて、あらためて、体制の整備・強化の要請がきているとの報告があった。昨年設置した「特定技能外国人材検討WG」の機能を明確にし、強化する方向で対応することとした。
- ・ 関係省庁内でも議論が本格化していることを認識していただき、引続き情報を密にして、連携して進めていくこととした。

#### 6) 「働き方改革」に関する発信について

「働き方改革」に関する発信について、議案書 (p30)にそって総務部滝本課長より以下の説明があり、確認された。

- ・ 発信の方法としては、ポスターとチラシを使用。ポスターは、印刷した物を組合と各構成員に配布。チラシは、データを組合に配信し、そこから構成員、取引先へ展開していただく。チラシの紙の要望有無については、状況を確認した上で、次回理事会で確認を行うこととした。取引先への展開は、組合の

機能を活用しながら工夫して対応する。

- ・ポスターとチラシの文言は、あくまでも、協会としての姿勢の表明。個社毎では、それぞれ事情・状況の違いがあるはずなので、まずは、各地域でこの内容を確認することとし、ポスター、チラシ等の作成については、次回理事会での協議後に開始することとした。
- ・また、チラシ等の文言についても、表現の方法、費用問題等の追記、分かり易さ等を含め、再度検討することとした。
- ・新聞広告については、建設系の業界紙を前提に、金額と効果（発行部数、エリア等）を確認の上、次回理事会にて判断することとした。

## 7) 「物流の2024年問題」について

「物流の2024年問題」について、議案書（31p）にそって、平井総務部長より以下の内容が説明され、確認された。

- ・鉄連から鋼材物流に関する情報が来ている。鉄連は、この情報を建設業界等を含む各需要団体へ説明しており、全構協も組合経由で会員へ周知することとした。
- ・2024年問題の中で発生する、物流コストの影響については、今後の議論に向けて、定量的な整理が必要である。本課題については、運営委員会に諮問することとした。具体的な検討課題・項目については、別途確認することとした。

## 8) 50周年記念映像の活用・展開（方法）について

50周年記念映像の活用・展開（方法）について、議案書（p32）にそって総務部 滝本課長より以下の説明があり、確認された。

- ・PR映像は、個人別の映像とそれを全体版としてまとめた映像の2種類を作成。
- ・業界のPR、構成員企業の採用活動、企業内の研修用等で活用したい。
- ・全構協HP掲載、構成員企業HP内のリンク等で拡散実施。
- ・映像紹介用のパンフレットについては、仮版で必要部数を確認の上、最終版完成次第、各組合へ配布することとした。

## 9) その他

### ①溶接ロボット資格

ロボット溶接オペレーター資格について、説明があり確認された。

次回11月の理事会で、各支部の考え方を確認することとした。

### ②災害対応

8月頃までに、各地で発生した豪雨等による災害について、説明があり確認された。過去の災害発生時の対応内容に照らし、今回協会としては、お見舞い金対応等はしないことが確認された。

③賛助会員の退会

賛助会員の「第一生命」から、退会の申出があったことが報告された。  
退会手続きを進めることが確認された。

④ウエルディングショー

来年春大阪で開催されるウエルディングショーについては、ブース出展対応は  
行わないことが確認された。

⑤採用関係

9月1日付けで、全構協事務局に、1名入社したこと。配属は、技術部である  
ことが報告された。

(7) その他の定例報告事項

議案書により配布され、時間の都合により説明は省略された。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全  
ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	永 井	毅
副 会 長	大 島	嗣 雄
〃	大 竹	良 明
専務理事	小 貫	武
理 事	佐 藤	正 記
〃	三 浦	隆 宏
〃	秋 山	順 一
〃	寺 田	健 信
〃	柏 原	正 明
〃	出 雲	津 芳
〃	妹 尾	一 人
〃	登 尾	昌 弘
〃	岩 永	洋 尚
理 事(相談役)	米 森	昭 夫
監 事	村 上	眞 樹
〃	五 月 女	久 和

理事総数	14名	うち出席者	14名
監事総数	2名	うち出席者	2名